



ゆくさ、おさいじゃした! 桜島



第2号
2015年6月12日
【発行】
実行委員会事務局

【スローガン】国民と広く連帯し、患者・地域住民と医療・福祉労働者の人権・生命の尊厳を守ろう



【写真上】むぎのめジャンベ隊のみなさん

【写真左】司会の右田さん(左)、川上さん(右)

6月12日、第42回医療研究全国集会in鹿児島が、鹿児島市の宝山ホール（鹿児島県文化センター）で開催しました。集会には全国各地から600名を超える仲間が、医療・介護・福祉について学び、交流し合うために結集しました。

1日目開幕 全国から 600名集う 以上仲間

医療・介護にはたらく仲間

全体集会のオープニングでは「麦の芽福祉会」のジャンベ隊が、民族楽器ジャンベの音を会場いっぱい響かせて盛り上げました。開会の主催者あいさつは日本医労連 中野千香子委員長が行い『安倍政権の社会保障抑制は戦争する国にする狙いがあります。社会保障拡充と軍事拡大路線は相いれません。大いに議論し、頑張る力を蓄えましょう』と呼びかけました。



続いて現地を代表して鹿児島県医労連 馬場文治委員長が『桜島や鹿児島の食を堪能して下さい。二日間ともに学び、議論しましょう』と歓迎のあいさつを行いました。

その後、伊藤周平・鹿児島大学法科大学教授が記念講演、鎌倉幸孝・医療研事務局長が基調報告、青山浩一・ますみクリニック院長が特別報告を行いました。【記念講演要旨は次号以降で紹介】

◆◆鹿児島まめ知識◆◆

- ・「ありがとう」→「あいがともさげもした」
- ・「この焼酎おいしい」→「こん しょつは、うんめなあ」
- ・「焼酎、飲みに行こう」→「しょつのんけいっが」
- ・「お世話になりました」→「おせわせえ ないあげもした」

- ・「宜しくお願いします」→「よろしゅ たのんみやげもんで」
- ・「おごってください」→「おごっ くいやい」
- ・「行くよ」→「いっど！」
- ・「具合（身体の）が悪い」→「あんべがわいか」
- ・「なんともいえない」→「こげんこっつあなか！」

【題字写真】桜島大根

桜島大根は、鹿児島県の特産品でギネスに認定された世界一大きい大根。直径40-50cmにもなる。大きく育てるには火山灰質の土壌で多くの手間をかける必要がある。一般の大根よりキメが細かく繊維が少なく甘味があり、大根おろしなどの生食やふるふき大根などに利用される。直径の大きな千枚漬は鹿児島県の特産品となっている。



ゆくさ、おさいじゃした！ 参加者インタビュー

①今日はどちらからお越しですか？
②明日はどこの分科会に参加しますか？



【写真左】

神奈川県・横福協労組
牛込知子さん、上門美千代さん、西井俊さん、山崎恵介さん、大内勇輝さん、個人加盟 植木さん



「医療研は、初めての参加です。青年での交流を楽しみにしています」

北海道・道東勤医労
山本隆幸さん
根室医療福祉労働組合
田中枝美子さん（介護福祉士）



【写真右】

「明日の第15分科会（在宅介護）で『訪問介護事業所を起点にして利用者にサービス提供を行った時の気づきと思い』という内容で発表をします」



福岡県・久留米大学教職員組合
井上さん 他4名
『看護師2名、検査技師1名、事務2名できました』



【写真右】



【写真上】

熊本県・熊本医療福祉労働組合民医連支部 森田さん
『分科会①に参加します。通所リハビリをやっているので看護と福祉を同時に学びたいです。この研究集会には何度か参加しています』

【写真左】

北海道・北海道勤医労松田さん（青年協議長）
『分科会13で報告します』
広島県・広島市民病院労組 石川さん
『分科会4に参加します』

